

# 市政を問う 一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問することをいい、毎定例会で行われます。

質問者順で掲載しています



**高崎操車場跡地周辺整備  
高崎卸売市場周辺の開発**  
(新風会)

**根岸 赴夫**  
(新風会)



**質問** 高崎操車場跡地の周辺整備計画での駅前づくりの考えは。  
**答弁** 新駅や駅前広場は土地区画整理事業の中心的な施設と考える。今後のまちづくりでは、駅前広場周辺の土地利用を促進し、地域住民や駅利用者へ便利で生活しやすくなるような施設に誘導していく必要があると考えている。

**質問** 高崎卸売市場周辺は、これまで優良農地として開発が制限されたが、今後の農地開発の将来設計をどう考えているのか。  
**答弁** 都市計画マスタープランでは、農地及び集落環境との調和を図りながら、業務、流通、工業などの立地と集積により、



**手話言語条例  
第5次障害者福祉計画**  
(新風会)

**松本 賢一**  
(新風会)



**質問** 議員提案により成立した手話言語条例を市としてどのように受け止めているのか。  
**答弁** 聴覚障害のある人となない人が人格と個性を尊重し合いながら共生することを基本に、手話への理解と普及を図ることを目的とし、基本理念を踏まえて施策を策定し、実施するよう努めることが責務と認識している。手話への理解を広げ、使いやす

い環境にするため努力していく。  
**質問** 平成29年度からの第5次障害者福祉計画に記載の障害者支援SOSセンターの概要と手話通訳者や相談員設置の考えは。  
**答弁** 障害のある人や家族のあらゆる障害に関する悩み事や相談をいつでも受け付け、対応を助言したり関係部署につなぐワンストップサービスが必要と考え、市直営で設置したいと考え

新たな市街地形成を目指すとしている。今後も、経済動向の変化や企業の開発ニーズの高まりなどを総合的に判断し、新たな開発に向けた調査研究を進めていきたい。  
**質問** 小学校卒業式での女子児童の服装や中学校の修学旅行用かばんなど、年々華美になる傾向があるが、市の考えは。  
**答弁** 学校の教育活動にふさわしい服装や経済的負担を考慮した説明に努めているが、判断は各家庭にあり、さまざまな意見がある。今後、学校が保護者と連携し、経済面や安全面、機能面を考慮した上で、適切に対応できるように進めていきたい。



手話言語条例成立記念



**水道事業会計の経営改善  
固定資産税の課税客体の把握**  
(新風会)

**田角 悦恭**  
(新風会)



ている。手話が必要とする聴覚障害者に対しては、手話通訳者と連携を図り対応していく。  
**質問** 計画の新規事業にある手話講演イベント事業の内容は。  
**答弁** 手話の理解と普及を図るため、手話を使う出演者による

イベントの検討や市主催の講演会等に手話通訳者を配置するなど、市民が手話に触れる機会をつくりたいと考えている。本年度はより効果的なイベント等の開催、周知用のチラシやポスターなどの作成を検討していく。  
**質問** 平成29年度と30年度の2年間で水道事業会計の経営改善に取り組むとのことだが、目的や実施状況、効果は。  
**答弁** 目的は事務の効率化と技術の継承である。窓口業務及び施設管理を民間委託し、管路の管理を市が対応することで経営の効率化を進める。その結果、29年度で13人、30年度は15人の人員を削減予定である。効果額

は30年度以降に提示できると考えている。  
**質問** 浄水場の統廃合や地下水を水源とした浄水場、また県央第一水道の受水量の考え方は。  
**答弁** ダウンサイジングを含めた統廃合を研究し、効率的な計画で整備を進めていく。地下水を水源とした浄水場は経費がかさむため、合理化を検討する。県央第一水道から水を購入しているが、自ら浄水するのか、購入するのか検討するため、購入量調整の協議を県と開始したところである。  
**質問** 固定資産税の課税客体の把握や免税点の基準は。また、権利異動時の取り組みは。  
**答弁** 法務局からの通知や現地調査で課税客体を把握している。土地、家屋、償却資産の区分ごとに課税標準額に満たない場合は免税される。異動時には、法務局からの通知に基づき2人1組の体制で正確に処理している。



**学校給食費の無料化  
子ども食堂**  
(日本共産党)

**伊藤 敦博**  
(日本共産党)



**質問** 本市の学校給食の特徴と食育や地産地消の取り組みは。また、アレルギーへの対応は。  
**答弁** 特徴は、栄養士や給食技士が丸となって安全で安心な食の提供に取り組んでいる。食育の推進は、年間計画を策定し、月ごとに給食目標を掲げ、教材となる献立づくりを進めている。地場農産物は、昨年度実績で高崎産と群馬県産を合わせ50%活用している。また、アレルギー対応は、詳細な献立表を保護者に提供し、学校で医師の指導による学校生活管理指導票を基に、代替食や除去食等による対応をしている。

**質問** 県内でも渋川市やみどり市など学校給食費の無料化が広がっているが、本市の考えは。  
**答弁** 今後も食料費の負担は必要であることを保護者に理解いただき、協力をお願いしていきたい。経済的な理由で学校給食費の支払いが難しい家庭には、就学援助の制度が確実に案内できるように、周知に努めたい。  
**質問** 子ども食堂の取り組みを市はどう支援していくのか。  
**答弁** さまざまな機会を捉え、実態の把握や、実際に子ども食堂を実施している団体から話を聞くなど、引き続き情報収集に努め、研究していきたい。

基本計画、実施計画の3層構成にとられず簡素化し、計画を策定する動向も見受けられる。本市においてもこのような動向を踏まえ、計画期間は従来どおり10年間を基準に考え、平成27年度末に策定した緊急創生プランのまちづくりの理念との整合性を図りつつ、次期総合計画の策定を進めていく。  
**質問** 5月に県内の配送拠点局として群馬南郵便局が市内に開局したが、市内への企業誘致の促進や各種奨励金制度の成果をどう考えるか。  
**答弁** 産業団地の整備や各種奨励金により市外からの新たな企業誘致を進めてきた。結果、優良企業の進出が順次決まっている。今後、相当数の雇用創出が図られると考えている。  
**質問** スマートインター周辺整備事業の進捗状況と地元採用は。  
**答弁** 企業の募集においては地元採用を重視し8社を選考したうち1社は、年内の工場稼働を予定して従業員を募集している。他社も年度内の工事着工に向け準備を進めており、地元の正規雇用を働きかけていきたい。



**高崎市第5次総合計画  
北嶋 菊好**  
(無所属)

**北嶋 菊好**  
(無所属)



**質問** 平成20年度からの第5次総合計画も残り10カ月だが、これまでの進捗状況と成果は。  
**答弁** ソフト事業はまちづくりの将来像実現に向けて継続的に推進できた。ハード事業は総合保健センターや高崎アリーナなど大きなプロジェクトも完了し、計画に沿った事業の進捗が図られた。また、市町村合併後の各支所地域の特性を生かしたまちづくりや旧市の市街地のにぎわ

い創出、福祉や教育などの各分野で目に見えない成果が表れていると認識している。  
**質問** 地方自治法の一部改正により、議会の議決を経ずに総合計画の策定が可能となったが、総合計画の位置付けをどう捉え、推進していくのか、考えは。  
**答弁** 法改正により市町村の判断が尊重され、多様な手法で計画を策定できるようになったと認識している。また、基本構想、



群馬南郵便局

程度により、短時間での勤務による任用も検討し、さまざまな障害を持った職員が活躍できるように職場環境の整備に努めたい。  
**質問** 食博覧会・大阪に出展した開運たかさき食堂は連日のにぎわいであったようだが、大好評だった小籠包を高崎の名物として売り出す考えは。  
**答弁** 今回の食博で小籠包は高崎を代表する食として売り込む魅力があると思った。販売店舗では、高崎産豚肉を創業時から使用しており、今後は生地にも高崎産小麦を使った高崎小籠包として売り込むことも考えられ、観光協会と相談したい。



**障害者の職員採用試験  
高崎市の食の発信**  
(市民クラブ)

**中島 輝男**  
(市民クラブ)



試験科目や問題は同一のものとする予定で、受験の際に配慮が必要な事項を確認し、個々の受験者の障害状況に応じた適切な対応に努めていきたい。  
**質問** 知的や精神の障害者が採用になった場合、職場配置はどのように考えているか。  
**答弁** 採用予定者の障害特性等は、採用試験の際に面接等を通じて把握し、適性のある職場への配置に努めたい。障害の状況や